

この形はどれかな？

作成日：2024.9.24
対象児：4歳児 きく組
作成者：進藤葵月

ねらい：友だちと形の違いを共有することを楽しむ。



～振り返り～

霧吹きを使った製作をした時に余った型がありました。その型をどう活かしていこうかと悩んでいた時によく見ると子ども達の描いた型が少し違っていることに気が付きました。それを型はめパズルにして遊んでみたら楽しいのではないかと思い、ゲームにしてみました。最初、子ども達はどの型が当てはまるのか迷っていましたが、友だちと協力をして教え合いながら当てはまる色と型を探していきました。型はめパズルが出来たことの喜びを保育者と共有したり、悩んでいる友だちがいたら「これの方がいいんじゃない？」と型を持って来て一緒に確かめている姿がありました。子どもたちみんなが出来上がったことの喜びを保育者が共有すると子ども達も「やったー！」と友だちと喜ぶ姿や一緒に拍手をする子どもの姿がありました。これからも難しいことがあっても友だちと協力することで一緒に達成感や喜びを共感できるかわりをしていきたいです。

(協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い)